

関西ワーカーズ・コレクティブ

vol.41 2024年10月18日

発行 / 関西ワーカーズ・コレクティブ連合会

・FAX / 072-341-0022

・メール / kansaiwco@gmail.com

・ホームページ / 右のQRコード→

編集・制作 / W.Co バックプランニング



関西ワーカーズ・コレクティブ連合会ニュース



「Largoによる参加型組織運営講座」開催報告

優秀なリーダーが 引っ張るのではなく、 そこそこのおおぜいでいい

7月27日(土)、神奈川W.Co連合会の事務局を担う「W.Co Largo (ラルゴ)」の山田純子さんを講師に招いてオンラインで開催し、27名(連合会所属25名・未所属2名)が参加。会議運営の基本を中心に、具体例をあげながら話されました。「みんなが経営者」であるW.Coが事業を円滑に継続するために、「優秀なリーダーが引っ張るのではなく、そこそこのおおぜいでいい。こんな私がここにいたから決まったことがある」と感じられる組織運営とは。一部を要約して報告します。

れると「私の話を聞いてもらえた」と感じる人もいます。

●感情・事実・意見…発言者の顔や声に引きずられがちだが、人格と意見を切り離す。声だけだと気になることだけを聞き、良くないので板書する。発言を感情・事実・意見に分けて書き出して整理する。

●議事録は必ず確認する…参加した人ほど確認する。思い込みで聞いていることもあり、そんなつもりじゃなかったということになる。

会議の工夫

●議案書(レジュメ)にタイムスケジュールを書く!…絶対に時間を取りたい議題から時間配分を決める。あとは調整。読めばわかることや、読んでおくだけでいい報告などは事前資料で共有して時間を省く。

●議題の順番…頭が起きていない朝にいきなり重要な議題は厳しい。昼食後に報告は眠いので重要な課題からすすめるなどの工夫を。

●提案書は意見をかみ合わせるための道具…なぜ話し合うかの共有が大切。目的が違うといろいろな意見が出て決められない。当日に聞かれても意見は出ないので、事前に通知し、各自が意見をもって参加する。

●発散と収束を分ける…創造会議においては、発散会議で意見を出し切り、各自で考えるための期間を置いて収束会議をおこない、方針を決定する。収束会議に入ってから意見を言わない。

会議のルール

●発言に責任を持つ。言わなかったことにも責任あり…聞いてくれるからと言ってだらだら話さない。会議後に意見を言わない。

●ルールを3つまで作って張り出す…ラルゴでは、「聞いてるときに話さない」「相手の話は奪わない」「聞いてるときに違うと言わない」。

●聞・聴・訊

「聴く力」…意見を受け止めるというのは、同じ景色を見る、見たいと思うこと。5W1Hなどを確認し、受け止め方に差異がないか考える。自分の価値観は横に置く。話を聞きながら自分が何を言おうか考えるのはNG。議事録を書くつもりで聞く。

「訊く力」…意見は各自の頭の中にもいっぱいあるが、訊かれて自分の言いたいことがわかることも。質問が詰問調にならないよう注意。何について答えが欲しいのかがわかる質問に。発言に対して質問をさ

課題解決への道筋

●いくつかの事象を把握する…現状を把握して分析し、掘り下げる。いくつかの事象を把握して根本的な原因を分析できるように普段から習慣づける。自分の考えを紙に書き落として問うことも大切。

リーダー交代のために

●役割を言葉で説明できるか?…リーダー層が「あうんの呼吸」でやってきたことを言葉で説明できるか。わからないことを平気で口にでき、「よくぞ聞いてくれました」と感じられる雰囲気。

●環境の整理…変えることは現状を否定することではない。これまでの蓄積があったので今があることをみんなで理解することが大切。

●人の業務か? 役割の業務か?…その役割でしかできない業務以外をはがす。「誰誰の代わりではない。役割を引き継ぐ」に見える化する。

●サポーターが必要…リーダーがこぼしたものを拾ってくれる、しんがりを務めてくれる、暴走した時に止めてくれる人は欠かせない。

参加者アンケートより

★事業継続のためには「みんなで考え、みんなで決める」が不可欠であることが理解できました。会議運営が雑にならないよう、また参加者が活発に意見交換し、納得できる決定ができる会議を目標にがんばりたいと思いました。

★参加型組織として一番大事な会議の進め方などが具体的によくわかりました。できるところからやっていきたいです。

★ひとつひとつの会議運営をていねいにおこない、誰でもできるように業務マニュアルを作っておくことで、自然と交代できる雰囲気ができてくるのではないかと思います。

★発散会議と収束会議を分けることで会議の目的意義を共有しておくといいのはとても有効だと感じました。

ワーカーズ・コレクティブとは、地域に暮らす人たちが、生活者の視点から地域に必要な「もの」や「サービス」を事業化し、自分たちで出資し、経営し、労働をも担う働き方をいいます。